

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第4号 令和5年7月5日発行

校長 尾島 義弘

令和5年度重点目標 「自分の考えをつくり伝える子どもの育成」

梅雨入りして約1か月、相変わらずすっきりしない天気が続いています。6月は祝日がなく、月曜日から金曜日まで規則正しく学校がありました。その中で様々な行事をしっかりと取り組むことができた月でした。

さて、7月になりました。夏休みまであと約3週間です。前期の前半を締めくくる月として、今やっておくことをしっかりやっておくことが大事になります。保護者のみなさま、ご家庭でもご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



令和5年度児童生徒総会

6月16日(金)、本年度の児童生徒会の活動を決めるための総会を行いました。総会には中等科、高等科の児童生徒が参加し、質問意見を出し合いながらスローガンや各委員会の活動などを決めていきました。生徒会活動は自分たちで自分たちの学校生活をよりよくしていこうとする自発的・自治的な取組です。

児童生徒のみなさん、自分たちで決めたことは最後までしっかり取り組んで、先生たちとともによりよい上陽北湊学園をつくっていきましょう。スローガンは次のように決まりました。

児童生徒会スローガン「一人ひとりが主人公」

児生会スローガン「Let's challenge ～自分の可能性～」



議案に対する質疑を行っている様子

筑後特別支援学校との交流

6月21日(水)、筑後特別支援学校との直接交流を行いました。今回は本校の7～9年生が訪問し、踊り(ダンス)を紹介し合ったり、一緒にゲームをしたりしました。自己紹介をしよう場面では最初は緊張した様子でしたが、ゲームなどを通して少しずつ打ち解けて、笑顔が増えていきました。



支援学校の生徒によるはじめの会の様子

共に学ぶことを進めることにより、生命尊重、思いやりや協力の態度などを育むとともに、同じ社会に生きる人間として、互いに正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶなど、個人の価値を尊重する態度や自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことが期待されています。(「特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告」より抜粋)

中体連陸上大会

6月1日(木)、久留米陸上競技場にて八女地区陸上大会が行われました。本校からは7~9年生23人が出場しました。本校に陸上部はありませんから皆、掛け持ちで限られた時間での練習でした。しかし、大会ではそれぞれが自己ベストを目指し一生懸命取り組む姿が印象的でした。男子1年100mで中島将希さんが4位入賞、筑後地区大会への出場を果たすことができました。



一走から二走へ！バトンパスの様子



お茶をたてる9年生の様子

礼節・実技の時間

本年度も総合的な学習の時間の授業として「礼節・実技」を実施しています。3、4年生は茶道、5、6年生は剣道、8、9年生は茶道と剣道を行います。日本古来の歴史と伝統のある茶道や剣道の実技を通して、礼儀作法を社会生活の場で実践ができるように身につけてほしいと思います。

寺子屋開校式

6月26日(月)、2、3年生を対象に行う寺子屋学習の開校式を行いました。今年度は6名の先生方をお願いをして、一人一人のペースに応じた学習ができ、低学年の段階から基本的内容や学習習慣の定着を目指しています。

開校式後は早速、それぞれの学年で学習を行いました。



3年生の寺子屋学習の様子



腰につけたひもを取ろうとする1年生の様子

親子ふれあい活動

PTA活動の一環として親子ふれあい活動を行っていますが、6月9日(金)には1年生が体育館で体を動かすレクリエーションを、6月14日(水)には5年生が陶芸をそれぞれ行いました。どちらの学年も親子で楽しそうに活動する様子が見られ、充実した時間となりました。



土をこねてお皿をつくる5年生の様子

差別やいじめをなくそう

福岡県では、同和問題の解決を目指して、昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各種の啓発行事を実施し、差別をなくす取組を展開しています。

本校では7月7日(金)の授業参観で1~8年生は人権に関する学習を行う予定です。